

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値	H25年度の実績値	達成率%	今後の取組
体系的なキャリア教育の推進						
1	【夢や目標を持っている状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 89.5 %	84.8	より多くの教員が資料を活用できるよう、県ホームページに「小・中学校キャリア教育研究協議会」の資料を掲載するとともに、ホームページを活用するように呼びかけ、各学校への周知を徹底する。 研究協議会において、職場体験日数の多い学校の事例を取り上げ、生徒の職業観の育成の効果について協議することで、職場体験の大切さを理解してもらい、各学校の職場体験活動日数の増加を図る。
2		中 73.0 %	中 80 %	中 77.3 %	61.4	
3	【インターシップの実施状況】 ・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 80 %	100.0	進路指導主事会などの場を通じて、各校に実施校のノウハウを未実施の高校に情報提供していくことにより、就業体験の実施に向けた支援を行い、生徒が職業について考える機会拡大につなげていく。
4	【企業実習への参加状況】 ・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 927 人	518.0	工業高校においては、ほぼ全員が企業等で実習の体験ができるようになった。今後は、地域産業担い手委員会などの学校と企業が話し合う場において、生徒のニーズと企業のニーズを議題とし、双方のニーズを互いに理解したうえで、より質の高い実習体験となるよう、学校と協力企業との連携を支援していく。
5	【技術研修への参加状況】 ・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180	高 129 人	-183.3	生徒の企業実習受け入れ先の企業に対して、教員の企業等の研修の実施時期と生徒の企業実習の時期が重ならないよう協力を要請していく。 企業等の実施する研修会だけにとらわれず、「新産業技術等職業高校教員研修」をはじめ、大学・短大・専門学校などが実施する研修会や、各部署が独自に実施する研修会や勉強会等も含め、企業等の求める技術を習得するための様々な機会への参加を、各専門学科の部会や指導主事の学校訪問時などあらゆる機会を捉え、各教員に対して推奨していく。
確かな学力の育成						
6	【国語についての理解の状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 83.1 %	15.9	「一校一実践」「一人一実践」が、県の授業改善のポイントをもとに、児童生徒の実態に応じて焦点化し行われているかを、「一校一実践」「一人一実践」の記録等を県教育委員会へ提出させ、チェックし指導することで全県的な取組を図っていく。 各学校において、学校長のリーダーシップのもと、家庭学習の課題の与え方等について、共通理解を図れるよう、管理職研修や指導主事の学校訪問を通じて指導していく。
7		中 72.1 %	中 80 %	中 74.4 %	29.1	
8	【算数（数学）についての理解の状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「算数（数学）の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 81.9 %	25.0	「一校一実践」「一人一実践」が、県の授業改善のポイントをもとに、児童生徒の実態に応じて焦点化し行われているかを、「一校一実践」「一人一実践」の記録等を県教育委員会へ提出させ、チェックし指導することで全県的な取組を図っていく。 各学校において、学校長のリーダーシップのもと、家庭学習の課題の与え方等について、共通理解を図れるよう、管理職研修や指導主事の学校訪問を通じて指導していく。
9		中 62.1 %	中 70 %	中 71 %	112.7	

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
10 義務教育課	【評価規準の整備状況】 ・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別にとらえた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 100 %	100.0	教育課程研究協議会や指導主事の学校訪問において、引き続き学習指導要領に示された目標に沿ったよりよい学習指導と評価が行われるよう、指導に取り組んでいく。 評価規準については一通りの整備が完了したので、今後は、より精度の高い評価規準になるよう、指導主事の教科訪問時などを利用して、新たな情報や他校での様子などの情報提供をし、ブラッシュアップを支援していく。 授業改善に結びつけられるような、全国の情報や県内高校の情報を提供するとともに、「指導と評価の一体化」の推進に向けて支援していく。
11		中 89.6 %		中 100 %	100.0	
12 高校教育課		高 92.5 %		高 100 %	100.0	
13 義務教育課	【家庭学習の取組状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしていない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 2.8 %	50.0	各学校において、学校長のリーダーシップのもと、家庭学習の課題の与え方等について、共通理解を図れるよう、管理職研修や指導主事の学校訪問を通して指導していく。 参加した保護者のアンケートをもとに、開催時期や時刻、内容を検討し、より多くの保護者に参加してもらえるよう工夫するとともに、家庭学習のリーフレットをホームページ上に掲載して、各学校での活用を促していく。
14		中 9.3 %	中 5 %	中 6.8 %	58.1	
15 高校教育課	【校種間連携の状況】 ・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 76.7 %	81.6	小中学生を迎えるための授業や学校のPRを兼ねた授業など、小中学校側の負担にならない方法での連携ができないか検討を進めていく。 各校が次年度の年間計画を作成する前に教務主任会等を開催し、次年度計画に小中学校との連携事業を盛り込むよう要請していく。また小中学校に対しても小中学校側が年間計画を作成する前に協力の要請を行うよう働きかけていく。 併せて、各小中学校側が異校種間参観できる日にちを事前に集計及び周知することにより、教員が小中学校側と交流しやすい環境づくりを進めていく。
豊かな心の育成						
16 義務教育課	【規範意識の状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 91.9 %	258.3	規範意識の更なる向上に向け、次のことを継続して実施する。 ・生徒指導の担当者会議や道徳の時間の充実に向けた研修会で議題として取り上げ、教員の指導力の向上に努める。 ・「やまなし」道徳教育推進運動の一環として、規範意識を高めるための取組を学校の実態に応じて実施するよう依頼する。 ・「しなやかな心の育成アクションプラン」の実践例として示し、規範意識を高めるための取組を推進する。 ・道徳や学級活動、体験活動や地域と連携した取組を通して、問題行動の起こらない魅力ある学校・学級づくりを推進する。
17		中 87.1 %		中 93.6 %	224.1	
18 義務教育課	【道徳教育の推進状況】 ・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8 %	70 %	小 94.5 %	169.6	道徳の授業公開を行うことは、家庭・地域の道徳教育への理解や協力につながるため、更なる授業公開率の向上に向け、次の2つの取組を引き続き行う。 ・「やまなし」道徳教育推進運動の一環として道徳の授業公開を全小・中学校へ依頼する。 ・魅力ある道徳の授業づくり研修会など、道徳担当者に対して、家庭・地域の理解や協力を得た道徳教育の意義等について説明する。
19		中 27.1 %		中 86.2 %	137.8	

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
20 高校教育課	<p>【高校芸術文化祭への参加状況】</p> <p>・文化部の活動を充実させるために行われている高校芸術文化祭への参加者数</p>	18,416 人	20,000 人	22,097 人	232.4	<p>今後も高文連専門部との協力の下、啓発・広報活動に引き続き力を入れていく。</p> <p>マスコミ等への取材依頼や情報提供を通じ、より多くの方に各校の取り組みを知ってもらえるよう支援していく。</p> <p>また、生徒数の減少に伴い部活動が縮小傾向にあることについて、高文連・高体連（高等学校体育連盟）と課題を共有し、協力して取組を検討していく。</p>
21 義務教育課	<p>【不登校の状況】</p>	小 188 人	小 160 人	小 131 人	203.6	<p>中1ギャップの軽減のために、小学校から中学校への情報の伝達の徹底を図る。また、様々な行動連携（職員間、児童生徒間・小中連携）を図るとともに、スクールカウンセラーの配置を小中学校が連携しやすいような配置に見直していく。</p> <p>スクールカウンセラーによる人間関係づくり等についての相談対応力が充実するよう、スクールカウンセラー研修会において指導していく。</p>
22	<p>・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数</p>	中 995 人	中 700 人	中 717 人	94.2	<p>管理職研修会や生徒指導担当者会において、学力不振が不登校の大きな原因であることを説明し、個に応じた魅力ある授業づくりの大切さを周知するとともに、一校一実践、一人一実践を中心とした学力向上の取組を充実するよう指導する。</p>
23 高校教育課		高 299 人	高 280 人	高 185 人	600.0	<p>校長研究協議会等の研究協議会の機会を利用して、不登校の問題に対する取組について随時協議し、教職員の意識の醸成と、相談体制の整備に、より一層の取り組みを指導していく。</p> <p>「新やまなしの教育振興プラン」や「山梨県学校教育指導重点」に沿ったきめ細かな生徒指導体制のさらなる整備と充実を図るよう学校を指導していく。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの有効活用による教育相談体制のさらなる整備・拡充を引き続き継続していく。</p> <p>「しなやかな心の育成推進事業」を推進し、自他を敬愛する心、折れない心、豊かな心を育て、不登校のない学校作りを目指すよう、学校を指導していく。</p>

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
24 義務教育課	【暴力行為の状況】	小 6 件	小 3 件	小 38 件	-1066.7	<p>暴力行為を予防する観点から、人間関係づくりや規範意識の育成等を図る手立てについて児童生徒を指導していくとともに、スクールカウンセラーを活用して人間関係づくり等の悩みを抱える子供やその保護者にカウンセリングを行う。</p> <p>問題行動の背景にある子供を取り巻く家庭・学校・社会環境などの様々な要因を改善するために、スクールソーシャルワーカーを活用した支援体制を推進していく。</p>
25		中 135 件	中 90 件	中 195 件	-133.3	
26 高校教育課	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数 【読書への取組状況】	高 72 件	高 50 件	高 26 件	209.1	<p>校長研究協議会等の研究協議会の機会を利用して、諸問題に関する調査等の結果をもとに、暴力行為防止に対する取組について引き続き協議していくとともに、他校の効果的な取り組み等を紹介することにより、より一層の取り組みの強化を図っていく。</p> <p>「新やまなしの教育振興プラン」や「山梨県学校教育指導重点」に沿ったきめ細かな生徒指導体制のさらなる整備と充実を図るよう、あらゆる機会を通じて各学校に対して指導していく。</p> <p>暴力行為の発件数は、減少しているが、子供を取り巻く環境について、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用も含めて、さらに細かな配慮を行っていきよう、あらゆる機会を通じて各学校に対して指導していく。</p> <p>暴力行為の背景に、いじめの問題がある場合もあるので慎重な対応を進めていきよう、引き続き各学校に対して指導していく。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの有効活用による教育相談体制のさらなる整備・拡充を引き続き継続していく。</p>
27 義務教育課	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 16.5 %	-20.4	<p>家庭等での読書を習慣化させるために、教育課程研究協議会や指導主事の学校訪問などにおいて、「家読」の取組を推進するよう学校に対して指導するとともに、「学力向上の集い」のリーフレットで、「家読」の取組を取り上げ、児童生徒の学校外での読書習慣を支援していく。</p> <p>山梨県PTA協議会や山梨県私立中学高等学校PTA連合会とともに連携し、各校のPTA総会等での広報を通じて家庭に対して直接的な周知に取り組んで行く。</p>
28		中 32.5 %	中 20 %	中 28.6 %	31.2	
健やかな体の育成						
29 スポーツ健康課	【運動・スポーツの実施状況】 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生（5・6年生）の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 46.6 %	-9.5	<p>子供たちが運動の習慣を身につけるためには、小学校期の遊びや運動の経験の積み重ねが必要であることから、新たな調査結果の分析をもとに、引き続き体育科の授業や健康体力づくり一校一実践運動の中で、様々な遊びや運動の経験を増やし、運動する意欲を高めていく。</p> <p>健康体力づくり一校一実践運動において、運動習慣の定着に向けた目標設定を行い、運動時間を増やししながら、習慣化を図っていく。</p> <p>「レクで学校丸ごと元気アップ事業」を通じて、子供の体力の現状と生活習慣、様々な動きを伴う遊びの経験など、子供たちの望ましい生活経験の必要性を保護者や地域の協力者と共通理解を図っていく。また、学校だけでなく、家庭、地域が一体となって、体力向上を目指す継続的な取組を検討し、実施に向けて取り組んで行く。</p>

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
30 スポーツ健康課	【体力・運動能力の状況】 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生（5年生）のボール投げの平均値のピーク時（昭和56年）の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 75.9 %	-69.9	ボール投げは、複数の動きを伴う運動であるため、様々な動きの経験を通して、身のこなしや体の器用さを身に付けていくことが必要である。また目標値には達しなかったものの、全体的な体力数値は改善傾向にあることから、今後も「健康体力づくり一校一実践運動」の一層の充実、「レクで学校丸ごと元気アップ事業」の取組などを通じて、引き続き運動時間を増やすとともに、様々な動きを伴う遊びや運動を経験させることに重点を置いた取り組みを推進していく。
31 スポーツ健康課	【薬物乱用防止への取組状況】 ・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 51.7 %	73.1	保健主事に対する研修等の内容に、自校での開催の参考となるような、またLHRの時間を活用して扱えるような手軽な実践報告を加えて行くことにより、各校の開催を促していく。
32 スポーツ健康課		高 87.5 %	高 100 %	高 87.1 %	-3.2	実施した「教室」の内容を講義だけで終わらせず、生徒が自らの問題としてとらえ、解決のために話し合いや呼びかけ合いを行うような自発的活動を「教室」終了後に展開できるようにするための指導内容を研修会に盛り込んでいく。
33 スポーツ健康課	【朝食の摂取状況】 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 92.4 %	35.0	小学校中学年以上では自分で食事を摂ることは可能であるため、児童生徒が自分で朝食が摂れるよう、簡単な食品を冷蔵庫等に常備してもらうよう保護者に対して直接働きかけていく。
34 スポーツ健康課		中 84 %	中 90 %	中 86.9 %	48.3	県福祉保健部や県企画県民部と連携して、保護者（成人）の朝食摂取に対する認識改善に向けた普及啓発活動に取り組んで行く。
35 スポーツ健康課		高 78.3 %	高 90 %	高 84.7 %	54.7	各校の食育担当者に効果的な取組や先進的な実践例を紹介していくなど情報提供を行うことにより、各校の効果的な取組を促し、引き続き健康3原則の徹底を図っていく。
36 スポーツ健康課	【食育の推進状況】 ・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	小 64.2 %		小 100 %	100.0	未作成校に対して、作成の一助となるような具体的な関係資料を提示し、計画の作成を促していく。
37 スポーツ健康課		中 53.8 %	100 %	中 100 %	100.0	食育については、学習指導要領にも定められていることから、年間指導計画表の必要性を理解してもらえよう、高等学校校長会等において各校の管理職への働きかけを行っていく。
38 スポーツ健康課		高 10.2 %		高 68.2 %	64.6	毎年度の指導計画の作成状況調査の他に、校内分掌確認の調査を実施していくことで、各校の担当者の意識付けを行う。 引き続き食に関する指導全体計画の作成を促進していくことで、義務教育で培われた食育の知識を再度学習させることにより知識の定着を図っていく。
特別支援教育の充実						
39 新しい学校づくり推進室	【個別指導計画の作成状況】 ・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 %	70 %	小 86.5 %	228.9	特別支援学級に在籍する児童生徒だけでなく通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒にとっても「個別の指導計画」の作成が有効であることを研修会等あらゆる機会をとおして周知し、より多くの小中学校で「個別の指導計画」の作成が行われるように促していく。
40 新しい学校づくり推進室		中 39.8 %		中 80 %	133.1	

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
41 新しい学校 づくり推進 室	【個別教育支援計画の作成状況】 ・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、 関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を 行うための「個別の教育支援計画」を作成してい る小中学校の割合	小 46.2 %	70 %	小 80.5 %	144.1	特別支援学級に在籍する児童生徒だけでなく通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒にとっても「個別の教育支援計画」の作成が有効であることを研修会等あらゆる機会をとおして周知し、より多くの小中学校で「個別の教育支援計画」の作成が行われるように促していく。
42		中 35.7 %		中 78.9 %	125.9	
43 新しい学校 づくり推進 室	【自立と社会参加の状況】 ・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	19.5 %	90.7	軽度知的障害があり卒業後の一般就労を目指す生徒の職業教育の充実を目的とした「県立高等支援学校桃花台学園」を平成27年4月に開設し、卒業生の自立と社会参加を一層推進していく。 県産業労働部と「障害者キャリアスキル検定制度（仮称）」を平成27年度から実施することにより、企業等への理解啓発を図るとともに、企業の求める人材と卒業生の特性をマッチングさせ、一般就職割合を高める。 新設高等支援学校に設置するコースに係る専門性を有する外部専門家「職業教育特別非常勤講師」や、実習先、雇用先になり得る事業所を開拓する「就労支援コーディネーターの配置」等を検討していく。 事業所向けのオープンスクールを開催するなど事業者の障害者雇用の理解や啓発に係る関係部署とも連携し取り組んでいく。
時代の要請に応える教育の推進						
44 義務教育課	【環境教育への取組状況】 ・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 %	100 %	小 100 %	100.0	今後も県内の全ての小・中学校で継続した取組が行われるように、ホームページや研修等の場で先進的な取組の紹介や呼びかけを行っていく。 理科部会や生徒会主任研究協議会などのエネルギー教育に関係する様々な会議を通じて、各校がどのような活動に取り組んでいるのか研究し、その研究成果を各校に提供していくことにより、各学校が実施可能な取組の種類を増やせるよう引き続き支援していく。
45		中 84.4 %		中 100 %	100.0	
46 高校教育課		高 75.9 %		高 100 %	100.0	
47 高校教育課	【福祉教育への取組状況】 ・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100.0 %	100.0	家庭科部会だけでなく、生徒会主任研究協議会、生徒指導主事研究協議会などにおいても、各校がどのような活動に取り組んでいるのか研究していき、それぞれの学校で実施可能な取組の種類や参加者数を増やしていくとともに、活動内容を一層充実させるよう支援していく。

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
48 義務教育課	【情報教育への対応状況】 ・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 %	小 70 %	小 67.9 %	84.1	管理職研修会、合同指導主事会議、学校訪問等を通して、ICT教育の必要性や有効性について資料等を使って周知を図っていく。 PCリーダーによる校内研修会の実施や総合教育センターからの出前研修制度を利用するなどの方法を各校のPCリーダーを通じて周知し、各教員のコンピュータ等の活用能力向上に向けて学校を挙げて取り組めるよう支援していく。 各校管理職研究協議会を通じて、各校の教員が総合教育センターのICT関連の研修会参加への積極的に参加することを奨励するよう依頼していく。 引き続き指導主事の各教科訪問時に、各教科に適した教材提示など簡単な利用法や、全国的な傾向やその利用法について普及を図り、授業でのコンピュータ等の積極的な活用を支援していく。
49		中 56.3 %	中 70 %	中 63.3 %	51.1	
50 高校教育課		高 64.3 %	高 80 %	高 68.5 %	26.8	
51 高校教育課	【高大連携への取組状況】 ・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 87 %	163.6	学校行事、総合的な学習の時間、LHR等、各校により大学との連携の取組形態は様々であるので、今後進路指導主事研究協議会などにおいて、各校の取り組みを紹介し、情報交換を進めていくことによって、未実施校においても大学との連携が実施できる環境づくりを支援していく。 今後生徒の満足度も向上させていくため、大学が開催する公開講座等の情報を、進路指導主事研究協議会等を通じて各校に提供していくことにより、生徒が自分の興味関心に応じた講座に参加できるよう支援していく。
学校教育の環境整備						
52 義務教育課	【学校評価及び公表への取組状況】 ・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 91.7 %	86.2	平成25年度の未実施校の再チェックを行い、未実施校に対し担当職員が個別に対応して、全ての学校において学校関係者評価を実施できるよう指導を行っていく。 評価の実施・公表については、全ての学校において実施されているが、公表方法については学校毎にばらつきがあり、ホームページで公表していない学校も見受けられることから、今後は学校関係者評価の公表方法について、透明性の高いホームページによる公表をより多くの学校で実施するよう、校長研修会や校長研究協議会などの機会を利用し、引き続き働きかけていく。
53		中 43.8 %		中 86.2 %	75.4	
54 高校教育課		高 71.7 %		高 100 %	100.0	
幼児教育・家庭教育への支援						
55 義務教育課	【保・幼・小の連携状況】 ・保育所や幼稚園との交流活動を年に3回以上行った小学校の割合	小 39 %	小 60 %	小 77.9 %	185.2	保育所、幼稚園、小学校はそれぞれ設置者が異なり、また管轄や指導方針等も異なるため、連携が難しい。今後も引き続き相互連携を図り、子供同士の交流活動、教職員の交流をさらに推進していく。

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
56 高校教育課	【ふれ合い体験の実施状況】 ・乳幼児とのふれ合い体験を実施している高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 100 %	100.0	家庭科部だけでなく、生徒会主任研究協議会、生徒指導主事研究協議会などにおいても、各校がどのような活動に取り組んでいるのか研究していき、それぞれの学校で実施可能な取組の種類や参加者数を増やしていくとともに、活動を一層させるよう支援していく。
地域全体で取り組む教育の推進						
57 社会教育課	【学校応援団の取組状況】 ・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合	0	100 %	100 %	100.0	今後は、充分な取組体制が整っていない学校応援団の実質的な立ち上げと質の向上に努めることとし、これまで学校中心となっていた学校応援団を地域コーディネーターを中心とした、より組織的、機能的なものへ育成していく。(具体的には、県に学校応援団の取組を支援していく組織を立ち上げ、学校関係者だけでなく、地域のコーディネーターやボランティアを対象とした組織的な運営や指導技術の向上を図ることに重点を置いた研修を新たに実施する。また、充実した実践を行っている学校を、引き続き積極的に県のホームページ等で紹介していく。)
58 義務教育課	【開かれた学校づくりのための取組状況】 ・学校のホームページで情報提供を行っている学校の割合	小 62.2 %	80 %	小 76.8 %	82.0	ホームページの有効性を広く理解してもらうため、未開設の学校に対して、直接指導していくとともに、各校に対して総合教育センターの「はじめてのホームページ作成研修会」等の研修を受講するように、管理職研修会や指導主事の学校訪問等を通じて促していく。
59	高校は100%達成済	中 60.2 %		中 72.4 %	61.6	
生涯学習推進体制の充実						
60 生涯学習文化課	【自主的な学習活動への取組状況】 ・「やまなしまなびネットワークシステム」で提供している学習機会や人材等の学習情報へのアクセス件数	836,370 件	1,000,000 件	573,874 件	-160.4	従来からまなびネットホームページ上の各関係機関との相互リンクの拡大やメールマガジン等の情報の発信により、まなびネットのより一層の利用促進を図ってきたが、今後ともきめ細かな情報を発信していくことにより、多様な学習ニーズに合った学習情報や人材情報の提供の充実を図っていく。
多様な生涯学習機会の提供						
61 生涯学習文化課	【多様な学習活動への取組状況】 ・県、市町村、大学、民間団体等が連携し、多様な学習機会を提供する「キャンパスネットやまなし」に入学した人の数(累計)	3,098 人	5,000 人	5,298 人	115.7	幅広い年代に魅力的な講座を開催していくことにより、更に入会者を拡大する。 引き続きあらゆる機会を通じて入会案内のリーフレットや講座情報を配布し、制度の周知を進めて行く。
学習成果の活用支援						
62 生涯学習文化課	【学習活動に意欲的に取り組んでいる状況】 ・「キャンパスネットやまなし」において所定の単位を取得し、奨励賞を交付された学習者の数(累計)	1,154 人	2,300 人	2,911 人	153.3	奨励賞の受賞は学習者の学習意欲の向上につながることから、今後も引き続き奨励賞の制度について、入会時に限らずあらゆる機会を通じて周知していく。

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
57 社会教育課	<p>【学校応援団の取組状況】</p> <p>・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合（再掲）</p>	0	100 %	100 %	100.0	<p>今後は、充分な取組体制が整っていない学校応援団の実質的な立ち上げと質の向上に努めることとし、これまで学校中心となっていた学校応援団を地域コーディネーターを中心とした、より組織的、機能的なものへ育成していく。（具体的には、県に学校応援団の取組を支援していく組織を立ち上げ、学校関係者だけでなく、地域のコーディネーターやボランティアを対象とした組織的な運営や指導技術の向上を図ることに重点を置いた研修を新たに実施する。また、充実した実践を行っている学校を、引き続き積極的に県のホームページ等で紹介していく。）</p>
生涯スポーツの振興						
63 スポーツ健康課	<p>【総合型地域スポーツクラブの設置状況】</p> <p>・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合</p>	53.6 %	100 %	88.9 %	76.1	<p>今後も全市町村訪問を継続していくとともに、未設置の町村に対しては、新たに県内の好事例等の情報提供や、クラブアドバイザーの派遣を行うとともに、環境が類似する地域、また、既存クラブのマネージャーの紹介等を通して、スポーツクラブ設置のメリットを伝えていくなど、地域の実態に応じたクラブ設立への支援を行っていく。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの設置を推進するために、各市町村にスポーツ推進計画の策定を促し、クラブの役割等、計画の中に位置づけ、地域の実態に応じたスポーツ振興を図っていく。</p>
64 スポーツ健康課	<p>【スポーツへの取組状況】</p> <p>・週1回以上スポーツを実施している成人の割合</p>	32.4 %	50 %	39.1 %	38.1	<p>参加者のニーズに合った種目を取り入れるなど、総合型スポーツクラブフェスタの内容を充実させるとともに、クラブからの情報発信や、市町村広報への掲載など、認知度を高めるための広報活動の強化に取り組んでいく。</p> <p>広域スポーツセンターと連携し、指導者に対し、個別にスポーツ情報ネットの指導バンクへの登録を依頼していく。また、サイトの認知度を高めるために、市町村担当者会等を通じて広報等への掲載など依頼していく。</p> <p>平成26年度に設置された山梨県地域スポーツ推進協議会を通じ、地域のスポーツ関係団体や各市町村の連携・協働を図り、各市町村における身近なスポーツ活動の実践を支援していく。</p> <p>県スポーツ推進委員協議会の研修会を、課題テーマ別に実施するなど充実させ、指導者の資質向上を図り、行政等と連携したスポーツの実施率向上に向けた、ウォーキングやファミリー体力検定などのスポーツ教室等への支援を行って行く。</p>
競技スポーツの振興						
65 スポーツ健康課	<p>【競技レベルの状況】</p> <p>・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数</p>	83 人・団体	100 人・団体	79 人・団体	-23.5	<p>引き続き成年チームの指定強化や企業スポーツ連絡協議会との連携や学校体育連盟に対する支援を行うことにより、各競技団体が活動しやすい環境を整えていく。</p> <p>優秀選手の発掘・育成・強化や指導者養成を目的とした「ジュニアアスリート・トータルサポート事業」を始めとする諸事業を進め、競技者・指導者の増加を図っていく。</p> <p>県体育協会や各競技団体をはじめとする関係団体と連携し、更なる一貫指導体制の確立と発展に努めていく。</p> <p>平成28年度本県開催の国体関東ブロック大会における多くの関東ブロック突破に向け、競技力の高い県外チーム・選手との交流試合・練習機会の増加、当該対象学年に絞った少年種別の強化などの取り組みに努めていく。</p>

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
66	スポーツ健康課 【アンチ・ドーピングへの取組状況】 ・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意識啓発のための講習会に参加している県内競技団体の割合	70 %	100 %	100 %	100.0	競技団体としての参加率は100%を達成しているが、今後も選手・監督等の入れ替わりがあることや、2015年1月から世界アンチドーピング規定及び国際基準が改定されることにより規則違反項目・禁止薬物など常に新しい情報を得ることで、選手に不利益が生じないように、引き続き講習会への参加を促していく。
67	スポーツ健康課 【一貫指導体制の推進状況】 ・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55 %	100 %	78 %	51.1	競技団体ごとに行う「競技団体個別会議」や「強化会議」等の場を通じて一貫指導の好事例の情報提供などによりマニュアルの重要性を理解させることにより、全競技団体でのマニュアル完成を促していく。 ルール改正や指導方法の進歩によるマニュアル未完成の競技団体に対しては、個別に中央競技団体によるマニュアルを参考に完成を促し、一貫指導体制を確立させていく。
文化芸術に親しむ機会の充実						
68	生涯学習文化課 【舞台芸術公演への県民の参加状況】 ・県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	30,587 人	616.7	引き続きアンケート等の結果をもとに県民のニーズに添った事業を主催することで入場者数の向上を図るとともに、新たに国民文化祭の成果を反映した県民参加型の事業展開を推進していく。
文化活動への支援						
69	70 71 生涯学習文化課 【博学連携の実施状況】 ・県立博物館と連携して教育活動を行っている学校の割合	小 40 %	50 %	小 48.3 %	83.0	博物館を活用する活動を促すために、博物館の教育主事と連携して、博物館の活用を教育課程に位置付けた出前授業の具体的な指導事例や博物館見学を取り入れた校外学習のモデルコースをふるさと山梨郷土学習実践研究発表大会や管理職研修等の機会に積極的に紹介するとともに、社会科だけでなく、様々な教科における活用例を学校訪問の際に示し、教育効果についての周知を図っていく。 県立博物館に直接出向くことが難しい学校に対しては、博物館からの講師の派遣や、教材貸し出し等による博学連携の推進を図るよう、各教科研究協議会を通じて、各校に依頼を継続していく。 学校、学年、クラス単位での利用だけでなく、授業単位、部活動単位、ひいては個人での利用などの各校の実情に合った取り組みやすい連携形態についても、各教科の研究協議会等を通じて、各高校に広報していき、各校の取組を促進させていく。
中 34 %		中 47.7 %		85.6		
高 31 %		高 23 %		-42.1		
72	生涯学習文化課 【県民文化祭への参加状況】 ・県民の文化芸術活動の発表及びその鑑賞の場である県民文化祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	172,762 人	-1526.6	平成26年度以降は、平成25年度に実施した国民文化祭の成果を継承・発展させていくことで、なお一層、県民総参加のイベントとなるよう事業を進めていく。

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
文化財の保存と継承						
73 学術文化財課	【文化財の保存・活用状況】 ・県内の国・県指定文化財の件数	660 件	690 件	679 件	63.3	引き続き新規指定に向け、事務局の調査、市町村への照会や専門家への指定候補の推薦依頼などにより、指定候補物件を掘り起こし、計画的な調査を実施し、指定文化財の増加に努め、文化財の適切な保存と継承を行っていく。